すぐにできるボランティア

ちょいボラ

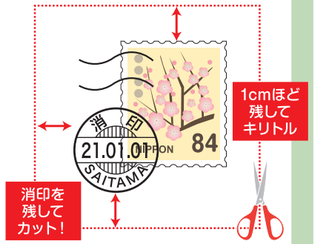
～ちょこっとボランティア～
お気軽にご参加ください

- 日時：月1回第3木曜
  13：30～14：30
- 内容：①使用済み切手の整理
  ②車いす清掃
  ③ミシンボラ
- 対象：どなたでも
- 費用：無料
- 申込み：不要

※日程を変更する場合があります。広報わこうにてご確認ください。

使用済み切手の募集

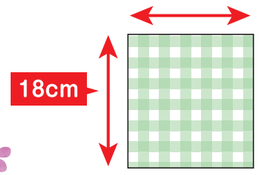
使用済みの切手を集めています。「ちょいボラ」できれいにカットし、「養護盲老人ホームひとみ園」へ寄贈しています。ボランティアセンターまでお持ちいただくか、郵送してください。



宅ボラ
（自宅でできるボランティア）

～ご自宅で、ボランティア活動をしてみませんか?～

高齢者施設や保育園などで、使用する布巾作りの活動です。自宅にある古タオルやシーツ、Tシャツなど吸水性の高い布を約18cm四方にカット（切りっぱなし）していただきます。カットした布巾はボランティアセンターまでお持ちください。ご自宅に布がなければ、ボランティアセンターに保管している布をお渡しします。（事前にお問い合わせください）



寄付・募金も立派なボランティア！

- フードドライブ（未使用・未開封で賞味期限に余裕があるもの）
- 生理用品
- 不要入れ歯（熱湯で消毒するか、入れ歯洗浄剤で洗浄したもの）
- 古タオル（洗濯済み）や木綿の布

その他の活動

●ゆめあいむすび隊
近隣のお宅で15～30分程度の活動。
例えば散歩の相手や一緒にお掃除をします。

●地区社会福祉協議会の活動
小学校区単位で分かれており、住民が主体となって組織されています。地域の支え合い活動や、イベントの開催などの企画運営を行います。

●自治会活動
地域住民が協力し合いながら住みよい地域づくりのために防災や防犯など問題解決に取り組む自主的な組織です。

活動者に聞いてみよう

スペシャルインタビュー

和光市ボランティア連絡会　会長
まなびば　代表
わこうちいき食堂実行委員会　代表
栗原 眞知子さん

ボランティア連絡会ではボラセンに登録している団体のうち25団体を束ね、先頭に立って精力的に活動、また元教員の経験を活かして学習支援の団体を立ち上げ活動もされています。2022年には、ちいき食堂実行委員会を設立し、食を通してあたたかい場とつながりづくりを行う栗原さんに聴きました。

あなたにとって、ボランティア活動とは?
出来る人が できるときに できることをすること。

これから活動したい方々へメッセージを！
年代を問わず人との関わりがもてるのがボランティア。さみしいと思ったらボランティアがお勧め。人生観が変わりますよ。
ゆるゆるとやっていきましょう！

社会福祉法人　和光市社会福祉協議会
和光市ボランティアセンター

〒351-0104　埼玉県和光市南1-23-1　和光市総合福祉会館3F
TEL・FAX／048-452-7606
受付時間／8：30～17：00（土・日・祝日を除く）
E-mail／volucen@wako-shakyo.or.jp

2024.2月発行

和光市 ボランティアセンター だより

和光市ボランティアセンター（通称：ボラセン）

和光市社会福祉協議会HP
ボランティアセンターの情報も掲載しています

わしゃもん放送局
和光市社協のYouTubeチャンネル。ボラセンに登録している音楽団体の曲も聞けます♪

社会福祉法人和光市社会福祉協議会

※この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を活用してつくられています。

ボランティアセンター（通称 ボラセン）って何をしているところ?

「ボランティアという切り口から地域づくりを推進する」ことを目的に、
社会福祉法人和光市社会福祉協議会が運営しています。

- ボランティア活動の相談
- ボランティア依頼の受付と調整
- ボランティア保険の受付業務
- 学校や地域の方向けに行う福祉共育
- 夏休みボランティア体験の取り組み
- 災害ボランティアに関すること
- 地域福祉ボランティア活動助成金事業
- 活動者の養成（ボランティアカフェ）
- 手話講座の開催
- 活動団体の支援・広報・啓発

ボランティア体験プログラム
活動の様子

学校での福祉共育

災害ボランティアセンター
開設運営訓練

どなたでも参加できる「ちょいボラ」

ボランティア活動ってどんな活動があるの?

社会福祉関係

障がい者施設・高齢者施設などで利用者と作業やお話し相手、レクリエーションのお手伝い。また、裏方として施設内の清掃や消毒など

子ども関係

学童クラブや保育園、福祉共育などで子どもたちの見守り、遊びなどの手伝いや、子ども食堂・学習支援の活動

環境に関わること

自然について学びながら環境保全の活動、ゴミ拾い、SDGsやサステイナブルについての取り組み

災害に関すること

被災地での活動

趣味や特技を活かした活動

福祉施設でマジックや歌の披露、囲碁将棋のお相手など

その他

募金活動、イベントのお手伝い、フードドライブ・フードパントリー、地域活動、病院・美術館のボランティア、国際交流　など

活動者に聞いてみよう

スペシャルインタビュー

勉強カフェわこう　代表
特定非営利活動法人わこうフードネットワーク　代表
和光市チームSDGs「わこサス」　代表
関口 寿子さん

活動のきっかけは何ですか?

教員を辞めた後、何か地域に貢献できることをやりたいと思ったこと、また、家庭の事情で塾にいけない子がいると聞いたことがこの活動を始めたきっかけです。

活動して良かったと思うことはありますか?

協力してくれる仲間ができたこと
小中学生の子どもたちと顔見知りになり市内につながりができること

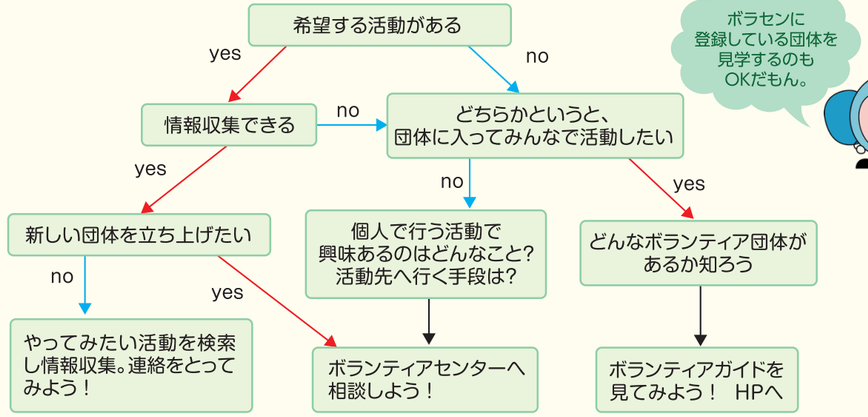
これから活動したいと想う方々へメッセージを!

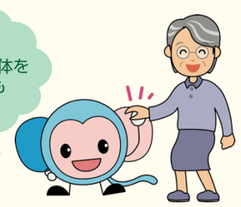
ボランティア活動は、一歩踏み出すと楽しいことが多いです。自分の興味ある活動に、チャレンジしてみてはいかがでしょうか。勉強カフェわこうは勉強を教えられなくても、見守りスタッフを募集しています!
興味のある方は、ぜひお問い合わせくださいね。

令和6年度ボランティアセンター年間スケジュール

	日 程	対 象
手話奉仕員養成講座	上半期:水曜日10～12時	上半期:基礎（入門講座を受講した人）　下半期:ステップアップ
地域福祉ボランティア活動助成金	受付:4～5月頃	ボランティアセンター登録団体
夏休みボランティア体験プログラム	7～8月	和光市在住・在勤・在学の小学4年生以上
朝霞地区四市福祉教育研修会	7月25日もしくは26日	教職員・福祉共育協力者（ボランティア）向け
災害ボランティアセンター開設運営訓練	1月下旬～2月	社協職員・その他
ボランティアカフェ	概ね2月・3月	ボランティア活動に興味がある方
福祉共育	年間	学校・地域の方

どうする?はじめてのボランティア活動 ～自分にあった活動をみつけよう～





▲ボランティアガイド
～HP掲載の他にボラセンや市役所に置いてるよ～

ボランティアカフェ企画
「春ボラ体験 案内会（自然環境団体）」

日　時／令和6年3月10日(日)13:30～14:30
内　容／これから活動したい方向けに自然環境の団体等の紹介、体験の案内など。
申込み／電話・メールにて
対　象／どなたでも
費　用／無料
※参加者が少ない際は中止する場合があります。

災害ボランティアに興味がある方へ

昨今災害が毎年のように発生しています。東日本大震災以降被災地に災害ボランティアが駆けつけることが当たり前のように見られるようになりました。しかし、発災直後は特に被災地は混乱していることが多い為、やみくもに現地に向かうのではなく、まずは情報を集めることが大切です。電話ではなく、まずは「全社協　被災地支援・災害ボランティア情報」https://www.saigaivc.com/をご確認ください。被災地に設置される災害ボランティアセンターの多くは、ホームページ、フェイスブック、X（旧ツイッター）などで情報を発信していますので、最新の募集状況の確認が必要です。

また、支援物資については、混乱している被災地に個人から多くの物資が送られますと、量の多さや物品の仕分けの困難さ等で、せっかくの善意がかえって被災地に大きな負担をかけることになる恐れがあります。

現地の状況をホームページなどでよく確かめてみましょう。

参考・引用：社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 発行「はじめてのボランティア」より

ボランティア連絡会

1998年に設立。和光市ボランティアセンターに登録している団体のうち、25団体が加盟（2023年1月現在）。各団体の代表者が集まる運営委員会や役員会を開催。横のつながりができるよう情報交換を定期的に行っている。「ボランティアのつどい」「大きな輪（和）で春をよぼう」の企画・運営も自主事業として行い、活発に活動している組織です。

ボランティア連絡会からのお知らせ

「大きな輪（和）で春をよぼう」
参加者・ボランティア募集

内　容／障がいある方もない方も一緒に楽しむゆるやかなスポーツ大会
日　時／令和6年3月2日（土）10:00～14:30頃
場　所／和光市総合体育館
申　込／ボランティアセンターまで
備　考／昼食あり。要申込。無料